



自治会長 成宮一郎

さて 我が肥田町も少子高齢化が進み、何十年來続いてきました自治会の基であります隣組の再編成という問題や、子ども会も会員の減少（既に力ンガルークラブは消滅、旧婦人会も女性会として再編済）等、身近な問題がおこつて来ております。こうした中、自治会活動と並行して一昨年の肥田町まちづくり委員会の住民意向調査を踏まえて隣組の再編が進み、11組と12組が冠婚葬祭は旧の組の存続を図りながら組のみを合併し、この4月から新たな11組としてスタートされました。少子高齢化が進み組内人口の減少が著しい中、防災や福祉等の面から可能な範囲で隣組が支え合うという意味では一定の役割を果たしています。人間関係の希薄化の傾向の中で、曲がり角にきています。組内戸数の少

また、当肥田町は町内の約70パーセントが何らかの農業に関係していますが、平成の現代に対応した農業を進めるため、今まで何度も申し上げていきますように経営体育成基盤整備（圃場整備）事業を実施するとともに「肥田の農地は肥田で守れる」よう集落営農組織を立ち上げ、各戸が昔ながらの耕作では赤字が続く中で、一定の利益を確保し生産性や収益性の高い農事組合法人化にして先祖伝来の財産を守るシステムが皆様のご理解とご協力で構築出来ました。今後は、地域の和と継続性・収益性を確保しながら維持していきたいと考えております。

平成19年度から始まった「世代をつなぐ農村まるごと保全対策」は、今後農家が減少や高齢化・農村地域の混在化が進行する中、地域ぐるみによる農村資源の保全や集落を支える農村地域力の向上が必要であることから、昨年度から農地維持支払と資源向上支払とに分かれ、交付金の金額が大幅に増額されました。今年度は町内各団体と連携を密にして更なる水質や生態系などの環境保全活動を推進していくことになりましたので、町内の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



まちおこし推進協議会
H27.4.1発行

ご入学おめでとう

ピカピカ
の
一年生



「私の大好きなもの」



今はゲームに夢中です。縄跳びも出来るようになり、とても楽しいです。

大きくなったら、先生
になりたいです。
今、大切にしているも
のは、「ランドセル」と
「机」です。お父さんと
一緒にゲームをするのが
日曜日の楽しみです。

私は、大きくなったら、
ケーキ屋さんになりたいで
す。私の作ったケーキをた
くさんの人に食べてもらい
たいです。

今、私の大切にしている
ものは、友達からもらっ
たマフラーです。

郎久丞史智司人昌和理子郎雄雄人郎磨子江子
 一治政之乃隆健正喜敏眞妙一俊久義四翔好康弥
 宮村庄摩井関関野宮野原宮野田枝摩宮藤野美
 成大瀧松薩筒伊伊藤成藤福成鶺森松薩成加藤伊

平成27年度自治会役員

山 本 長 蔵
北 野 文 子

続 ふるさと特集

若き日の思い出

千葉県松戸市在住 加藤 貞一

私は、この4月で79歳、22歳までを肥田で過ごし、その後は福岡、広島、大阪、東京を経て現在は千葉に根を下ろして30年と最も長くなりました。

しかしながら千葉県民という意識は余りなく、甲子園の高校野球、県別駅伝なども滋賀代表を応援してしまっています。知事選や国会議員選なども千葉より滋賀の動向により関心が向いています。また風水害の報道も滋賀県は、湖東はどうだろうかと気掛かりで電話もしている次第です。

やはり、滋賀には父祖の墓があり、実家も残り親戚、友人も多いことにより、生を受けてから子供、学生時代を過ごした肥田の町が最も懐かしい思い出の詰まった時、所、「ふるさと」だと思っています。沢山の思い出の中から幾つかをご紹介します。

<終戦日と地蔵盆>

地蔵盆の準備から帰ると、ラジオの前で近所の人が涙を浮かべていたり、不安そうな顔をしていたり異常な雰囲気であった。怪訝な顔をしている私に「日本は戦争に負けた」と告げられた。小学3年の8月15日のことである。戦争に負けたという事の実感がわかず、ただひたすらに地蔵盆と子供相撲大会の土俵の準備に熱中したように記憶している。

当時は地蔵堂は登町とは別に東町の宇曾川堤前にあった。地蔵盆は子供が中心になり、数日前から掃除、地蔵洗浄、供花や奉加金集めをし、そして最終日の打上げが子供相撲大会であった。回しは水泳と同じ6尺褌で学年別対抗戦や5人抜など勝てば賞品がもらえ大きな楽しみであった。

<前髪と若衆会・青年団>

数え歳13歳になると「前髪」という大人の仲間入り前の修行期間があった。前髪の修行が終わると晴れて若衆会に入れる。お宮さんのお世話をベースにした組織で、氏神の清掃、挨拶の実施、集会でのお酒の爛、お酌などの修行で、これを怠ると若衆会に入れて貰えない。

子供にとってはとても怖い存在ではあったが、今となっては良い経験として懐かしい思い出である。酒席では先輩の「艶歌」に手拍子で唱和するのですが、今でもかなり覚えている。

若衆会とは別に青年団活動が盛んで、お御堂での全員参加の大演芸会、境内での野外映画会など娯楽の少ない当時の大きなイベントであった。

<遊びと彦根カロム>

終戦前後の子供の遊びと言えば缶けり、魚釣り、宇曾川での水泳、自作の竹馬や竹とんぼなどで、古い独楽、色褪せた花札やトランプも貴重な遊具だった。その中で、同級の故辻野治男君宅に超貴重な「カロム」というゲーム機があった。麻雀卓に似た形で4隅が開いており、丸い木の親チップを指で弾いて、相手のチップを落とすゲームだったと思う。カロムは世界各地に似た物があるようだが、カナダから帰った方が彦根周辺に普及させたようだ。最近では「彦根カロム」として愛好者も増え、彦根城内で全国大会が行われているそうだ。



<肥田の縦横の道路>

20年前実家の建て替え時、友人の建設業者が下見に来た。業者は田舎で道は狭く大型機材は入らないと思っていたが、道路が広いのと東、西、登町と千の字に整然としているのに驚いていた。確かに周辺の古い町でこれほど道路が広く、整然とした街並、防水のための土塁のある町は見当たらない。これらは先人の先見の明のお陰であろう。

最後に、「肥田町史」の編纂、「圃場整備事業」の実現に尽力された方々、また色々な「まちおこし」の活動、「広報ひだ」の発行や「冠句会」のお世話などに当たられている方々に心からの敬意とお礼を申し上げ拙文の終わりとします。

故郷との心の架け橋 肥田城

大阪府吹田市在住 藤野 一三

肥田町の皆様 今日は、ご無沙汰いたしております。私は昭和22年から18歳までを肥田の町で過ごしました。この年、肥田町の同級生は男女各9名計18名であり稲枝東小学校同級生が79名ですから一大勢力でした。大村恭三氏、薩摩直弘氏、藤野好和氏、山本久由氏は現在も肥田町に在住され活躍されておられます。幼少時の遊びの思い出は前号の山岸健二氏と同じなので割愛いたします。肥田町18名の同級生中私一人が小学校5～6年を故青木一雄先生、中学校1年を高瀬俊英先生にご担任頂きました。何しろ腕白盛りで色気づく年頃を自宅の近所の先生が担任とは！！嫌で嫌で堪らなかったのに今となっては懐かしい思い出です。高校を卒業後京都市、大田区、国立市、松戸市、枚方市と転居し現在は吹田市の緑地公園近くに住んでおり2年前からは自適生活です。そんな私のライフワークは日本100名城完全制覇です。平成19年に(財)日本城郭協会が日本全都道府県より「優れた文化財・史跡」「著名な歴史の舞台」「時代・地域の代表」を基準に100城を選定し北東は東根室のチャシ跡群から南西は沖縄の首里城まで点在し、滋賀県からは彦根城、小谷城、安土城、観音寺城が選ばれています。一方向じ頃T社のT氏が「先日藤野さんの故郷の城を訪れました」「彦根城に行ったの?」「いえ肥田城ですよ」「えっ マニアの間では肥田城は知られた存在だったのです。この二つの出来事がもともと城好きの私の老後の楽しみの方向を示してくれ、日本100名城完全制覇に挑戦することになり現在67城まで到達いたしました。また高瀬俊英氏からは聖泉大学での肥田城に関する講義資料を提供頂きました。一方「広報ひだ72号」で町民の皆様が土塁の手入れをされておられることを知りました。

私も何らかの形で肥田町のお役に立てばと思い、最近友人や知人の間で城の話になると肥田城を紹介し彦根城と併せて肥田城を訪問するよう勧めております。

近江は城の宝庫です。国宝彦根城、近世城郭の先駆安土城を基軸として「近江の城郭群」がいつの日か世界歴史遺産になり故郷の更なる発展を願っています。

